

(様式 5-1)

地域重点施策推進事業事後評価調書(令和3年度実施分)

地域振興局名

山本地域振興局

(振興局調整費)

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
地域振興局独自情報発信・啓発事業(振興局だより)	総務企画部	小原 友明	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	0185-55-8004	能代山本管内の地域住民に振興局の施策事業をPRするとともに、その存在をより身近なものに感じてもらうことを目的とし、通常の新聞記事になりにくいお知らせを掲載した。	393,695	防災、交通安全、感染症対策、道路情報、納税、各種手続・相談日情報など、地域住民に身近な県政情報を発信するため、年7回「振興局だより」を新聞紙上に掲載した。	県	北羽新報	令和3年4月1日 令和4年5月13日	・県政情報について、事業を用いて効果的に発信することができた。また、これによる管内住民からの問合せもあり、宣伝した事業は参加者多数により大きな成果を挙げることができた。	・北羽新報は管内において秋田魁新報を上回るシェア率を誇り、管内の情報を提供する場として確立されている。 ・新聞を実際に購読されている方と、お知らせする内容の対象である年齢層にはズレがあり、幅広い年代を考慮した情報発信をより効果的に行っていく必要がある。
地域未来創造センター機能強化事業	総務企画部	小原 友明	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	0185-55-8004	振興局各部職員を地域未来創造センタースタッフとし、各部横断的な視点から地域振興局の取組を推進するとともに、あきた未来創造部が各地域で実施する事業に参画する体制を整えた。	3,700	コミュニティ生活圏形成事業対象地域で開催されたワークショップ等への参加(八峰町岩館地区) ・開催日: R3.10.20、12.1 ・参加者: 岩館地区住民、八峰町役場職員、県職員	県	地域住民	令和3年4月1日 令和4年5月13日	・コミュニティ生活圏形成事業市町村報告会・全県報告会ともに多くの人が参加しており、関心の高さがうかがわれる。	・本庁が各地域で実施する事業へ振興局が参画するものである。 ・集落における日常的なサービス機能を維持・確保していくため、コミュニティ生活圏での地区住民の自主的な取組の意識を高める必要がある。
新ご当地グルメ「白神の恵みかましメシ」定着・誘客促進事業	総務企画部	小原 友明	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	0185-55-8004	「白神の恵みかましメシ」は、地域連携DMOあきた白神ツーリズム(AST)が県(観光戦略課)事業を活用し、令和2年に開発した山本地域の新たなご当地グルメである。新たな観光誘客の目玉としての定着を図るため、①美彩館における「かましメシ」PR、②DMOとの協働による現地誘客キャンペーンを実施した。	353,063	①美彩館における「かましメシ」PR及び消費者反応の把握 秋田県・東京アンテナショップ「あきた美彩館」において、「かましメシ」の限定販売を行った。 ・実施時期: R4.3.1~3.7 ・販売数: 63食 ②DMOとの協働による現地誘客キャンペーン及び消費者反応の把握 かましメシや飲食の様子などをTwitter、Instagram、FacebookのSNSで「#かましメシ」と、動画又は画像を付けて投稿することで、あきた白神エリアの特産品詰め合わせが当たるキャンペーンを実施した。 ・実施時期: R4.3.1~3.21 ・投稿数: Facebook 10、Instagram 16、Twitter 3	県	首都圏在住者等	令和3年4月1日 令和4年5月13日	① ・アンケートでは「おいしかった」「とてもおいしかった」と回答した人が96.8%を占め、大変好評だった。 ② ・Facebookで10、Instagramで16、Twitterで3の投稿があり、SNSを通じて消費者の反応を得ることができた。	① ・首都圏の方々にも能代山本地域の「かましメシ」について知ってもらう契機となった。 ② ・反応も多く、地域内及び県内での認知度が向上していると言える。 ・今後も引き続き「かましメシ」を展開していくには、DMOとの連携が必須である。